

平戸市 × 平戸市森林組合

～ 木質バイオマス活用の実証実験 ～



市内事業所における 最先端の取り組み

特集 持続可能な社会の実現へ

6月は環境月間です。この特集では、さまざまな環境問題に対し、一人ひとりができる対策や市内事業者の取り組みについて紹介します。

問 市民課環境政策班 22-9126



COOL CHOICE

at HIRADO

☑ 身近にできるエコチェック

日常で取り組んでいる対策がいくつ当てはまるかチェックしてみましょう。



可能性を秘める持続可能な森林資源

平戸市には、約6千8百ヘクタールの広葉樹林が広がっていますが、手つかずの状態です。

放置された森林は、林内に光が届かず荒れ果ててしまいうため、平戸市森林組合は、保全のために広葉樹の活用に取り組んでいます。

そこで平戸市も、平戸市森林組合と連携し、伐採した広葉樹を「木質バイオマス」として活用する実証実験を開始しました。

伐採した広葉樹を「チップ」と呼ばれる機械で削り、ボイラーで燃焼させ熱エネルギーに変換します。

実験では、変換された熱エネルギーをしいたけ栽培ハウスの暖房に利用していますが、将来は、公共施設での活用も目指しています。

伐採した広葉樹が再び育ち、利用が可能になるまで約30年。

目標としている燃料生産量を確保するために、30年で必要な森林面積は3千ヘクタールであり、市内にある広葉樹の資源量で十分まかなうことができます。

森林の保全とエネルギーの供給、そして再生した森林のCO2吸収というサイクルで、森林の秘める持続性を活用し、カーボンニュートラルの実現を目指し取り組みます。

電気

照明はこまめに消す
めったに使わないものはコンセントを抜く
エアコンは適切な温度に設定

買い物

てまえどり(賞味期限の近いものから)
使い捨てではなく長く使える商品
マイボトル・マイバッグを持ち歩く

ゴミ捨て

ごみの分別の徹底
生ごみは水気を切って捨てる
小さくしてごみ袋の使用量を減らす

水道

水を出しっぱなしにしない
シャワーはこまめに止める
お風呂のお湯は適量に

キッチンまわり

油汚れなどをふき取ってから洗う
消費期限内に使い切る
繰り返し使える容器やラップを使う

環境保全活動

ふんわりアクセル・エコドライブ
車間距離をとり加減速の少ない運転
なるべく徒歩や公共交通機関で移動

